

地域医療魚沼学校 楽語り講座にて発表しました

平成 29 年 3 月 8 日に魚沼市立小出病院講堂にて、地域医療魚沼学校 楽語り講座が開催されました。地域医療魚沼学校は、医療人と住民が互いに学び合い、健康を守る人材を育成する場所として生まれました。この活動の一環として、今回は市民オープン講座として楽語り講座が開催されました。

今回は、「住みよい地域は長生き地域 — ソーシャルキャピタルの話 —」と題して、当センターの鈴木特任助教より、魚沼市で実施されている「生活環境と健康に関する聴き取り調査」の紹介があった後、医学研究実習で聴き取り調査を行った医学科 3 年の学生がそれぞれ調査結果の報告を行いました。小野 仁志君からは「うつ、主観的健康感とソーシャルキャピタルとの関連」、齊藤 朋子さんからは「地区ごとの高齢者の転倒率と歯の状態の関係」、小林 佑輝君からは「高齢者の筋肉量・筋力の低下と運動習慣の関係」、波形 ありささんからは、「高齢者の筋肉量・握力と抑うつの関連」という題で発表を行いました。

大勢の方の前で発表するのは未経験でありながらも、どの学生も堂々と研究成果を発表しました。会場からは、今後の調査結果の活用の仕方など多くの質問やコメントが寄せられました。

今後調査で得られた結果を、住民の健康づくりやまちづくりに生かしていくために何ができるのか、改めて考えるきっかけになりました。

